



マスク供給、中国に依存

マスクなどの医療用品の品薄状態が続いている。一般のマスクについては少しずつ市場に回っているようだが、医療現場で利用するようなものについては相変わらず品不足のようだ。その理由としてよく指摘されるのは、日本で利用するマスクの供給の多くが中国に依存していたことだ。

特定の国に過度に依存するのはリスクが高いので、国内生産を増やした方がよい、という意見も見られる。この議論は、今回はマスクだったかもしれないが、自動車部品でも、石油でも、食料でも成

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

り立つ議論だ。特に食料については以前からよく言われたことだ。海外からの食料輸入に依存すると、いざという時には輸出してくれなくなるかもしれない。だから、食料の安全保障という観点から国内の食料生産を増やすべきだという議論だ。

ただ、この議論にはおかしな点

がある。それは、特定の一つの国に依存するという点と、輸入に依存するということには、大きな違いがあるということだ。食料の例で考えれば分かりやすいと思うが、国内の生産に過度に頼ることにもリスクがある。東日本大震災のような大きな災害が国内で起きれば、海外からの輸入なしには供給が厳しいことになるからだ。海外からの調達にもリスクがあると同時に、国内だけに過度に依存することにもリスクがある。だから食料については、できるだけ多様なチャネルを通じて食料が輸入できる仕組みを強化しつつ、国内生産と海外からの調達のバランスを取るようにすることが重要である。

調達の多チャネル化

がある。それは、特定の一つの国に依存するということと、輸入に依存するということには、大きな違いがあるということだ。食料の例で考えれば分かりやすいと思うが、国内の生産に過度に頼ることにもリスクがある。東日本大震災のような大きな災害が国内で起きれば、海外からの輸入なしには供給が厳しいことになるからだ。海外からの調達にもリスクがあると同時に、国内だけに過度に依存することにもリスクがある。だから食料については、できるだけ多様なチャネルを通じて食料が輸入できる仕組みを強化しつつ、国内生産と海外からの調達のバランスを取るようにすることが重要である。

マスクでも同じだ。全て国内で生産できるようにすれば安心というわけではない。中国という特定の国に過度に依存したことが問題であるとしたら、国内生産を強化する一方で、複数の国から輸入できるチャネルを強化する必要がある。

このような調達を多チャネルにすることは、多くの企業が真剣に考えているはずだ。この20年、中国の成長があまりにも著しかったために、製品や部品や原料を中国だけに頼りすぎている企業が多い。マスクや自動車部品についてはよく言われていることだが、ジェネリック医薬品のような商品でも、原料を中国に大きく依存するケースがあるという。中国から原料が入らなくなると、高血圧の薬が生産できなくなる可能性さえあるという。

グローバル化のリスク

コロナウイルスの騒動が一段落したら、いろいろな商品や原料について、どのように輸入のチャネルを広げていくのか真剣に考えるべきだろう。そう考えて、調達

や輸入の分散化を進めるべき商品には何があるか列挙してみた。マスクや医療機器そしてジェネリック医薬品の原料についてはすでに述べた。漢方薬の原料も中国に過度に依存している。自動車などの分野でも、中国からの部品の流入が止まれば生産に大きな影響が出るものがあるようだ。石油や天然ガスは、中東地域、とりわけホルムズ海峡を通るルートに過度に依存している。

こうやって列挙していくと、おそらくそのリストは非常に長いものになるだろう。グローバル化によって日本経済や私たちの生活は大きな恩恵を受けているが、それですべてのリスクを避けるための処方箋は、国内生産ではなく、リスクの分散であるのだ。